

# 事業報告書

## I. 事業の概要

公益法人として第6期となる平成29年度は、

### 1. 奨学金事業として

(1) 県内在住14名の高校奨学生及び大学院奨学生1名に対し、奨学金を給付した。

(2) 奨学生同志の交流を深めるため懇親会を2回開催した。

(3) 日本の古典文化に触れる機会として、奨学生を対象に奈良の寺を拝観した。

### 2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

## II. 事業活動

### 1. 奨学金事業

(1) 本年度は、新採用の3名を含めて計14名の高等学校奨学生に対し月額3万円、1名の大学院奨学生に対し月額10万円の奨学金を給付した。

### (2) 懇親会

#### 《第1回》

平成29年8月26日(土)開催 在学奨学生10名 ・ 卒業生6名 / 計16名参加

- ・ 午前中は、参加者全員での自己紹介
- ・ 午後は、現在、JICAの職員である卒業生(2000年3月卒)に、彼が2014年から2016年中旬まで駐在していたアフガニスタンの現状について、スライドを交えながら語ってもらった。同じ地球上でありながら、平和な国にいる私たちの日常からは窺い知れない実情を知る貴重な機会となった。
- ・ 話し合いのテーマとしては、4個の候補の中から「友達、知り合いが同性愛者だったら、あなたはどう思いますか？」を多数決で選択。普段、友達と話し合うことはまずないと思われるテーマだったが、話し合っているうちに結局はお互いの違いを受け入れることではないだろうかというところまで行きつき、出口が見つかったような思いのする話し合いとなった。

#### 《第2回》

平成30年3月24日(土)開催 在学奨学生12名 ・ 卒業生7名 / 計19名参加

- ・午前中は、参加者全員で近くにある東大寺戒壇院を訪れ、拝観した。
- ・午後からの話し合いについては、10 個の候補の中から「A I と人間の付き合い方」を多数決で選択。人間が作り出したA I は、今や私たちの日常に大きく入り込んでおり、普段はそれが持つ能力や利便性が優先して何気なく使っているが、何時かは愚かな人間をA I が滅ぼすのではないだろうかという現実味のある発言もあり、それに対する怖さについては気づいたり、考える機会は少ないように思われるだけに有意義な時間となった。これからもっと入り込んでくるだろうA I に対して私達人間はどうか付き合うかは、人としてどう生きていくのかという、個々にしっかりとした考えを持っておくべきではないかということなどを皆で認識し合った。

(3) 古典文化に触れる機会としては、

上記にもあるとおり、第2回開催の懇親会において、東大寺戒壇院を拝観した。東大寺の近くにありながら訪れる人は少ないが、堂内に安置されている四天王は、世界的水準をゆく天平時代の塑像である。広くないだけにゆっくりと拝観、鑑賞できた。

2. 奈良県橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

寄贈図書については、同研究所から購入書籍報告書を受け取っている。

### Ⅲ. 庶務の概要

#### 1. 役員等に関する事項

平成30年3月31日現在

役員	氏名	就任年月日	担当業務	報酬	備考
評議員	天根俊治	H28.6.28	評議員業務	なし	
〃	今治安次	〃	〃	〃	
〃	植田康治	〃	〃	〃	
〃	竹村隆	〃	〃	〃	
〃	中尾勝二	〃	〃	〃	
〃	中山早保	〃	〃	〃	
〃	姫野忠弘	〃	〃	〃	
理事長	西田正秀	H29.6.29	理事長	なし	
専務理事	今治賀洋子	〃	一般業務	〃	
理事	石橋英二	〃	理事業務	〃	
〃	中本克美	〃	〃	〃	
〃	西川 彭	〃	〃	〃	
〃	前園実知雄	〃	〃	〃	
〃	森岡弘憲	〃	〃	〃	
監事	神原 浩	〃	監査業務	〃	
〃	辰巳文一	〃	〃	〃	

氏名五十音順

平成29年度 高等学校奨学生 選考委員	奈良県教育長
	奈良県高校長協会会長
	奈良県高校長協会副会長
	奈良県高校長協会副会長
	奈良県教育委員会事務局 学校支援課課長
	修徳会 理事

#### 2. 職員に関する事項

職員は採用いたしておりません。

### 3. 開催した会議に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	平成 29 年 6 月 29 日
-------	------------------

(2) 理事会

開催年月日	平成 29 年 6 月 29 日
〃	平成 29 年 11 月 14 日
〃	平成 29 年 3 月 19 日

(3) 選考委員会

開催年月日	平成 29 年 6 月 12 日
〃	平成 29 年 6 月 19 日

### 4. 契約に関する事項

該当なし